



グリーン早稲田岡山稲門会

Facebook page [グリーン早稲田岡山稲門会](#)

グリーン早稲田
岡山稲門会
会報誌
VOL.30
NOVEMBER
2019



2018
01SEP
2019
31AUG

新入会員

新入会員
12名
会員数
191名

1 正会員
2 準正会員
3 特別会員

阿部和也(あへ かずや)
1 平成4年
2 政治経済学部
3 日本生命岡山支社
単身で岡山2年目になり
ました。昨年度は無謀にも西大寺会
陽に参加、無事帰還しました。



荒木逸治(あらい せいじ)
1 昭和54年
2 法学部
3 水島銅板工業株式会
社
一昨年8年ぶりに米国LAより帰国。岡
山で通算14年目の単身生活中です。



小野宏記(おの ひろき)
1 平成4年
2 法学部
3 ボランチワークス合
同会社
今でも早稲田のジャージで、近所をうろ
うろしています。



鈴木慎一(すずき しんいち)
1 昭和59年
2 政治経済学部
3 テレビせとつち株式
会社
平成28年まで日本経済新聞の岡山支局長
でした。ご縁あって二度目の岡山です。



竹井剛(たけい つよし)
1 昭和49年
2 理工学部
3 なし
年に数回、八ヶ岳の古
民家に集い旧友を温めています。続ける
ためにも健康第一です。



中川真寿男(なかがわ ますお)
1 昭和53年
2 政治経済学部
3 早島町長
2期目が決まったばかりです。早島に住
んでよかったと思える町づくりを行って
いきます。



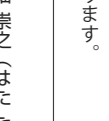
仲田早苗(なかつた さなえ)
1 平成20年
2 第一文学部
3 株式会社FLC
design(エフエ
ルシーデザイン)
結婚出産を機に、岡山市御津エリアに移
住しました。料理の仕事を中心に、あれ
これやっております。どうぞよろしくお
願いします。



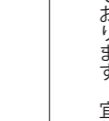
西野千春(にし のち はる)
1 平成23年
2 法学部
3 総社市役所
地元で勤務していま
す。部署が変わる度に新しい総社の魅力
を発見する日々です。



西原秀俊(にしはら ひでお)
1 平成15年
2 商学部
3 西原経営支援会計事務所
念願の税理士になって、日々頑張ってお
ります。



畑崇之(はた たかゆき)
1 平成4年
2 社会科学部
3 中国建設工業株式会社
兵庫出身ですがご縁あって岡山で過ごし
ております。宜しくお願いします。



薬師寺弘昌(やくし じひろまさ)
1 昭和50年
2 理工学部
3 元大平洋金属勤務
(現在無職)
昨年夏に岡山へ48年ぶりに帰ってきました。
大学時代はワセオケ(交響楽団)で
トランペットを吹いていました。昨年か
らチェロを習い始め、現在はまっすいま
す。



山村彩和子(やまむら さわこ)
1 平成29年
2 教育学部社会科
3 三井住友海上火災保
険株式会社
大学卒業後、念願だった犬を飼い始め岡
山生活満喫しています。



会長ご挨拶

グリーン早稲田岡山稲門会
第17代会長 小坂 広幸



さて、この1年は、伝統と革新、
維持と増進を意識して会の運営に
務めて参りました。
●昨年2018年の6月30日岡山
シンフォニーホールでの総会にて
新体制を承認頂きました。
●9月2日(日)赤坂レイクサイ
ド・カントリークラブにて稲穂会
を開催しました。
●9月29日(土)岡山カントリー
クラブの郷コースにて開催され
た東京六大学ゴルフコンペに当会
からも参加しております。
●会報と会員名簿の作成を広報委
員会を中心に行いました。新入会
員歓迎と定着を目指し、広報委員
会の打ち上げを兼ねた懇親会を11
月26日(月) Ryoutei(田
町店)にて開催し、既存会員と新
入会員や会員歴の浅い会員との懇
親をはかりました。
●12月1日(土)ピュアリティま
ぎびにて例会を田上康孝(株)明治取
締役専務執行役員、「東京20
20オリンピック・パラリンピッ
ク大会開催に向けて、株明治の取
り組みとホストタウンの活動」と
題してご講演頂き、開催致しまし
た。
●新しい試みとして、本年201
9年2月15日(金)岡山浜作にて
慶応大学(ジュニア三田会)との
両校懇親会を初開催し、大いに盛
り上がりました。
●3月9日(土)花丸本舗アカバ
ナにて杜蠅の会を校友以外の近親
者の参加も得て開催しました。

●4月20日(土)岡山プラザホテ
ルにて明治大学(校友会岡山地方
支部)との両校懇親会を初開催
し、大いに盛り上がりました。
●6月8日(土)ラヴィール岡山
にて総会を北川正恭早稲田大学名
誉教授・早稲田大学マニフェスト
研究所顧問に、「大隈精神に学ぶ
『令和の時代的使命』」と題して
ご講演を頂き、開催しました。
●8月5日(月)に岡山タカシマ
ヤピアガーデンにて、幹事を中心
とした既存会員と新入会員との懇
親会を開催しました。
●8月10日(土)ファジアノ岡
山の試合(大宮アルディージャ
戦)を観戦しました。
●9月7日(土)赤坂レイクサイ
ド・カントリークラブにて稲穂会
を開催しました。
●9月28日(土)岡山カントリー
クラブの郷コースにて東京六大大
学ゴルフコンペも開催しました。
この様な様々なイベント、行事は
会員の皆様の参加機会の増加を目
的として増やしておりますので、
是非、ご参加頂き、楽しんで頂き
たいと思っております。今後も、
年齢、男女を問わず、会員の皆
様、幹事の協力によって、校友の
懇親の場を提供していきたいと思
っております。
末筆となりますが、会員の皆様
の益々のご健勝、ご活躍を祈念申
し上げます。
(平3政経)

編集後記

- 今年の主なニュース
- さよなら平成、令和が始まる
- 千葉大停電。各地で大雨被害
- 大阪なおみ、世界ランク1位に
- 米大リーグイチロー引退
- 洪野日向子、全英オープン優勝

今年是小坂会長体制二年目に入り、会報誌の紙
面上も会長の運営方針が色濃く反映されていると
感じています。表紙の挨拶ではこの一年のイン
トを簡潔的に巨つ具体的にご報告を頂きました。
表紙下段では、会長肝いりの他大学懇親会を紹介
させて頂きました。永遠のライバル、早慶懇親会。
慶応の名前に若干の緊張を覚えながらも、懇親会
では実に仲良く盛り上がったと伝え聞いておりま
す。私も参加した早慶懇親会。明治の多彩な個性の
前に終始圧倒された早稲田でした。次頁は例会・
総会のご報告、高次先輩のご尽力でお越し頂いた
明治の田上孝氏のご講演頂きました。例会で
は北川元先輩のお声掛けにより、早稲田大学名
誉教授・元三重県知事の北川正恭氏のご講演が開
催されました。洗われるように次々と発せられる力
強いメッセージに心動かされました。当会報誌は
発行二十周年を迎え、三十周年特集として清心中
高校長三宅聖子先輩に自由執筆頂きました。「キ
リスト教と女子の世界に生きてきた」と先輩は言
います。私には体験のない世界ですので、三宅先輩
の言葉にはいつも新鮮さがあり刺激を受けていま
す。三頁目には、田邊会員による杜蠅を味わう会
のレポートを頂きました。田邊会員は毎年杜蠅好き
の娘さんと一緒に参加して頂いています。横野先
輩による六大学ゴルフ記事では、昨年の早稲田優
勝のご報告を頂いています。女子ゴルフ洪野日向
子さん、ファイバーもあり、今年も女子会員の参加
が増えるのでは！ 会員のひとこと欄では新入の
山村会員によるフェンシングの記事を頂いていま
す。GOGOファジアンでは、森井委員がファジ
ン親子イベントを紹介してくれています。
梶野竜二(平17理工)

■総会、例会、杜蠅の会以外のイベ
ント(例えば他大学との交流会な
ど)については、メールにてご案内
をさせて頂いております。
■つきましては未登録の方は、メー
ルアドレスをグリーン早稲田岡山稲
門会事務局までお知らせください。

■会報誌に関する問合せ先
広報委員会 梶野竜二
〒703-8271
岡山市中区円山1-74-3
丸菱建築計画事務所
TEL086-274-2289

■会に関する問合せ先
グリーン早稲田岡山稲門会事務局
〒703-8236
岡山市中区富田1-2-14
ガーデンスコート後楽園202号
金重麻衣子
TEL086-3288-6775 FAX0869-66-7068
Email:green_waseda@ajno.co.jp
Facebook page グリーン早稲田岡山稲門会

■発行人
グリーン早稲田岡山稲門会

■企画・編集
広報委員会
梶野竜二・波戸貴久・森井悠・山本聡
■協力
藤井壮太・山村彩和子
■企画・制作
BIP POINT CO.LTD.
〒700-0945
岡山市南区新保1-3-10・1
TEL086-243-3066 FAX086-243-3086

懇親会レポート

早慶懇親会

2月15日岡山浜作にて「慶早」懇
親会が盛況に開催されました。
両校合わせて37名の参加があり、
お互いの近況から学生時代の思い出
まで、様々な話題で会話に花を咲か
せました。最後は慶應は若き血、早
稲田は都の西北で異例のイーL交換
が行われ、学生時代は決して見る事
のできなかった慶應と早稲田が肩を
組みながらの、大合唱となりました。
今後の、両校・両会の発展及び
絆がより深まる事を祈願して、結び
とさせて頂いたいただきます。
岡山ジュニア三田会 大岩 裕季



早明懇親会

4月20日岡山プラザホテルにて早稲田O
Bとの初めての合同懇親会、我々として
はやる気満々。懇親会が始まると盛り上
がる盛り上がる。我々にとつての一番の
ライバルはなんと言っても早稲田。野球
であれラグビーであれ勝つてうれしいの
は早稲田。親しみを感ずるのも早稲田。
お互い泥臭い校風だからだと思ふ。初め
て会ったのに旧知の仲になるのも早く、
明治と早稲田の個性をたっぷりと感じて
きました。また早稲田にグリーン早稲
田岡山稲門会さんとこのような会を開
きたいと思ひます。

明治大学校友会岡山地方支部
事務局長 大月 秀彦



会員の皆さまの「今」をご紹介するコーナーです。記事掲載を希望の方は広報委員会まで。

山形彩和子さん からひとこと

体育フェンシング部に在籍し創部初の団体5冠を達成してから4年、仕事の合間に岡山との仲間と和気藹々として競技を続けております。今では、大学時代の先輩や同期、後輩と敵チームとして剣を交わすこともありませんが、勝負はもちろんなこと、夜には思い出話に花を咲かせるのも競技を続ける楽しみの一つとなっています。 高次秀明

牡蠣を味わう会

牡蠣好きにはたまらない牡蠣づくし

昨年初めて牡蠣の会に娘と参加したところ、牡蠣好きの娘が大喜び。今年も親子一緒に参加させて頂きました。牡蠣はグリーン早稲田専門会会員の磯辺さんが提供して下さいており、採れたての新鮮な牡蠣を色々な料理で味わうことができます。定番の牡蠣料理から珍しい牡蠣げまで、思わず舌鼓を打ってしまいました。

未入会の方も気軽に参加でき、アウトホームな雰囲気を楽しめる会です。来年も開催を予定しておりますので、知人やご家族をお誘いの上是非ご参加下さい！

田邊美佳 高次秀明

六大学ゴルフ

早稲田 悲願のV奪還 連覇を誓う!!

2018年9月29日、第6回東京六大学ゴルフコンペが、岡山カントリークラブ桃の郷コースで開催されました。

大型の台風24号が接近しており、開催自体危ぶれましたが、総勢74名の参加者が集う中、遂に、遂に、第1回大会に続く2回目の団体優勝を果たしたのです。素晴らしい！

さて、次は連覇です！ ただ、優勝の栄誉に浴し、皆さんと早稲田の校歌を熱唱しながら、次回は、エールを切るメンバー参加が必要不可欠であると感じた表彰式でもありました。

横野崇司(平6法)

G☆G☆!!ファジアーノ

SWO Tはファジアーノ岡山を応援しています!

毎年2月末から11月末まで、開催される「ファジアーノ岡山ホームゲーム」は、毎試合1万人近くの岡山県民が集まり、チームの勝敗に一喜一憂します。ホームゲームが行われるシティライオスタジアム岡山県総合競技場にお越しください。全席男女、様々な方とすれ違ふこととなります。ぜひ同席か、ホームゲームにはサッカーをメインイベントとした、いろいろなアクティビティをご用意しております。大フェスになったり、食や飲み物、グッズなど様々な切り口を仕掛けて、ご来店いただく方々がますます増えるように、ファジアーノのホームゲームには是非足を運んでください。

高次秀明(昭51理工)

夏、家族3代で楽しめる!!
ファジアーノ岡山のホームゲームは、街一番のお祭りだ!!

©2014 FAGIANO OKAYAMA SPORTS CLUB CO.,LTD.

特別寄稿

会報創刊30周年記念に際し、寄稿をお願いしました

清水中学校 校長 三宅 聖子

体育祭などでテント張りや資材移動をする生徒たち、ヘルメットを頭に託る手にロープを握る生徒たち、里山の木々や竹林を整備する生徒たち、両生類を育て研究する生徒たち、お弁当の後にパンを口に運ぶ生徒たち…。このような生徒たちを前にすると、清心は女子校だと思えます。

清心では女子だからしくなく、よいこともできないこともありません。進路指導においても女子だからの制約なく生徒たちの夢を応援します。女性のロールモデルに欠ける機会も多々あります。すべての教育プログラムは女生徒に焦点を当てています。周りの評価も外見のかわいさや美しさを一歩上回る面が大きく、まず「人」としての自分を見つめるのが女子校です。紫の自分の中に女性らしくて言われるものも自然に芽生え、生涯の友ができるのも女子校です。

私が大学に入学したのは1997年でしたが、「女子学生が入学するようになって早稲田がメメになった」と教授が授業中におっしゃることがありました。「女子大生亡国論」が起きていました。時を経て女性の活躍というところが盛んに言われる時代になりましたが、それでも世界経済フォーラム(WEF)が発表した男女平等ラウンディング2018によると、日本では149カ国中110位とG7では最下位でした。女子校は女性が活躍する社会の先取りであり、そのような将来の社会の担い手を育てる場でもあります。

私は、ほぼキリスト教と女子の世界に生きてきました。それだけにキリスト教以外の宗教や社会の様々なことに関心を持つて聞いたり、自分を揺らし、世界を駆け回らしてきてきました。そして、早稲田大学という選択でした。「女性性は関心の範囲にありませんでしたが、清心中学校・清心女子高等学校が来年度から岡山県下で唯一の女子校になること、自分にとっては当たり前存在である女子校の価値を伝え主張したくなりました。

女子校と共学どちらがよいというのでなく、選択があることが必要と思っています。まず人として育てる女子校、清心の教育を大切に、人としての自己を確立し、活躍の場が職場であれ家庭であれ、自分の人生をしっかり受け止めることを生き抜く人を育ててゆきたいと思っています。

最後に、この度は会報誌30周年おめでとうございませう。私の人生に大きな影響を与えてくれた母校にお祈りしております。

(昭50文)

2018年度例会 2019年度総会

本年度も両会とも多数のご参加をいただくことができました。

例会・株式会社明治 田上氏
総会・早大名誉教授 北川氏
両講演とも素晴らしいものでした

平成最後の30年度例会は12月1日に「レニユアリティまきび」で開催しました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開幕を前に、オフィシャルスポンサーとして熱心に準備活動に取り組んでおられる明治の田上康孝取締役専務執行役員をお招きし、「東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向けての明治の取り組みとホストタウンの活動」と題してご講演をいただきました。

田上氏からはヨーロッパで有名なブルガリア共和国との密接な関係から、山形県村山市の新体操ナショナルチームのホストタウンのパートナー企業として、小さな町がスポーツの祭典を通じて世界に繋がることの素晴らしさを紹介してくださいました。官民と市民が一体となれば密度の濃い国際交流ができることを感じました。

令和最初の元年総会は6月8日に「ラヴィール岡山」にて開催しました。

マニフェスト選挙を提唱し、国民のための政治を提言しておられる早大名誉教授北川正恭氏を講師にお招きし、「大隈重信に学ぶ『令和の時代の使命』」と題して、パワーポイントも原稿もなく90分の中身の濃いお話をいただきました。

特に印象に残ったのは明治以降の日本近代史を俯瞰しながら、人口減少・少子高齢社会を迎えた今日、抜本的な発想の転換が必須との言葉でした。何度も口にされた「バックキャストイング」も未来のあるべき目標を設定して現在すべきことをあきらめずには目が覚める思いでした。最後に会場で聞いておられたファジアーノ岡山の北川真也社長を直しくとおっしゃった時には、一人の父親の顔に戻っていたのが、とても微笑ましく印象的でした。

両会とも素晴らしい講演者に恵まれ、私たちの視野を広げてくださいました。末筆ではありますが、お二人とご出席いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

高次秀明(昭51理工)

- 例会・講演中の明治 田上康孝氏
- 例会集合写真・参加者全員での記念撮影
- 例会・懇談会での一コマ、田上康孝氏と高次秀明
- 総会・講演中の北川正恭氏。饒舌な語り口に引き込まれます
- 総会・恒例の校歌斉唱。最後はやっぱり校歌で締めです
- 総会集合写真・多くの会員が集まりました

清心女子高等学校 校長 三宅 聖子

体育祭などでテント張りや資材移動をする生徒たち、ヘルメットを頭に託る手にロープを握る生徒たち、里山の木々や竹林を整備する生徒たち、両生類を育て研究する生徒たち、お弁当の後にパンを口に運ぶ生徒たち…。このような生徒たちを前にすると、清心は女子校だと思えます。

清心では女子だからしくなく、よいこともできないこともありません。進路指導においても女子だからの制約なく生徒たちの夢を応援します。女性のロールモデルに欠ける機会も多々あります。すべての教育プログラムは女生徒に焦点を当てています。周りの評価も外見のかわいさや美しさを一歩上回る面が大きく、まず「人」としての自分を見つめるのが女子校です。紫の自分の中に女性らしくて言われるものも自然に芽生え、生涯の友ができるのも女子校です。

私が大学に入学したのは1997年でしたが、「女子学生が入学するようになって早稲田がメメになった」と教授が授業中におっしゃることがありました。「女子大生亡国論」が起きていました。時を経て女性の活躍というところが盛んに言われる時代になりましたが、それでも世界経済フォーラム(WEF)が発表した男女平等ラウンディング2018によると、日本では149カ国中110位とG7では最下位でした。女子校は女性が活躍する社会の先取りであり、そのような将来の社会の担い手を育てる場でもあります。

私は、ほぼキリスト教と女子の世界に生きてきました。それだけにキリスト教以外の宗教や社会の様々なことに関心を持つて聞いたり、自分を揺らし、世界を駆け回らしてきてきました。そして、早稲田大学という選択でした。「女性性は関心の範囲にありませんでしたが、清心中学校・清心女子高等学校が来年度から岡山県下で唯一の女子校になること、自分にとっては当たり前存在である女子校の価値を伝え主張したくなりました。

女子校と共学どちらがよいというのでなく、選択があることが必要と思っています。まず人として育てる女子校、清心の教育を大切に、人としての自己を確立し、活躍の場が職場であれ家庭であれ、自分の人生をしっかり受け止めることを生き抜く人を育ててゆきたいと思っています。

最後に、この度は会報誌30周年おめでとうございませう。私の人生に大きな影響を与えてくれた母校にお祈りしております。

(昭50文)